

堀田石油株式会社
海上石油有限会社
平成31年度 経営方針

平成31年3月～平成32年2月

経営理念

私達は、人と地域とエネルギーの調和ある発展を求め、生活創造産業として心豊かな人間社会の実現に貢献します。

社是

【奉仕】

私達は、仕事を通じて地域社会の人々に心を込めて
尽くします。

【友愛】

私達は、お互いに相手を心から敬い大切にします。

私達は、お客様をはじめ会社とかかわるすべての人
に和をもって接します。

【飛躍】

私達は、自らが発展成長することによって地域社会
に貢献し、飛躍します。

ACTION 5

1. 私達は、奉仕の心で最高のサービスを提供します。
 - (1) お客様第一主義で考え、行動します。
 - (2) 仕事の改善に取り組みサービスを向上させます。
 - (3) 仕事は最後までやり遂げ目標を達成します。
2. 私達は、お互いの心を思いやり、友愛を大切にします。
 - (1) 職場のメンバーを思いやり、援助します。
 - (2) 職場のメンバーとともに働くことを喜びとします。
 - (3) 職場の目標達成のために主体的に動きます。
3. 私達は、地域社会に貢献しながら飛躍します。
 - (1) 地域社会の中で私たちが働けていることを自覚します。
 - (2) 職場での自らの役割や立場を認識し行動します。
 - (3) 飛躍のために自らの能力開発に取り組みます。

4. 私達は、笑顔でキビキビと行動し、きれいな職場をつくります。

(1) 挨拶、服装、身だしなみ、態度、言葉遣いを適切に行います。

(2) 職場の整理整頓清掃を行います。

(3) コミュニケーションを図り、職場の明るい雰囲気を作ります。

5. 私達は、ルール・マナーを守り、安全に心がけ、責任ある行動をします。

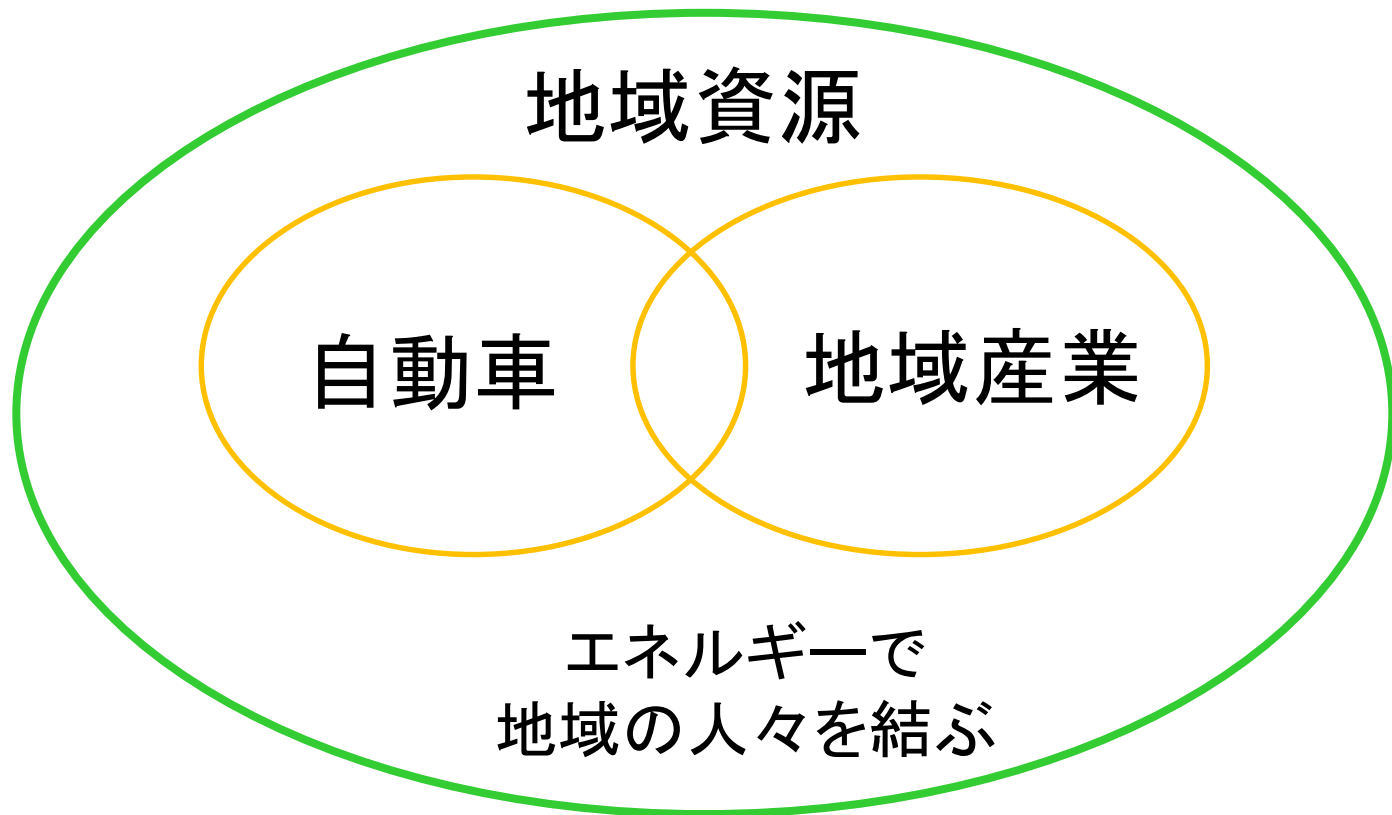
(1) 時間を大切にし、約束した期限を守ります。

(2) 職場のルールを守り、マナーの向上に努めます。

(3) プロフェッショナルとしての責任を果たします。

平成31年度経営方針

堀田石油、海上石油がこれまで培ってきた基盤を深化させるとともに、これからのエネルギー環境に対応した新しいビジネスモデルを構築する。経営環境の変化に対応して、社員のみなさんも視点を高くして、広い視野で業務を遂行して下さい。



事業戦略

環境の変化に対応した事業別の戦略を立案する。

1. タンク40年問題を含め、SSの新設、統廃合をさらに進め、将来のSSのビジネスモデルを構築する。
2. 水産都市境港を支える直売事業を成長させるための設備投資を検討する。
3. 電動化、自動化、コネクティッド、シェアリングなどの新しい環境変化に対応して自動車関連事業を強化する。
4. 地域内での同業他社や他業種との連携・協力を推進する。

1. お客様への感謝

(1) 堀田石油のさらなるファンづくりの深化

(2) 堀田石油のブランド力の向上

(3) お客様へのサービス向上のための管理システム

(4) 現在のお客様との関係の強化

(5) 新規のお客様の獲得

(6) 従来のチラシ、マスコミの活用に加え、インターネットやSNSでの告知、集客方法を積極的に導入する。

2. 石油エネルギーを中心とした既存の事業のさらなる深化

(1) タンク40年問題も考慮し、新設、統廃合をさらに進め、SSビジネスにおけるさらなる効率化とサービス力の強化

(2) カービジネスの事業強化

／車検、リペアー、保険、自動車販売など

(3) 直売事業の拡大と収益確保

／水産都市境港の発展を支える

(4) 地域の同業他社との連携、協力関係の構築

3. これからの時代に対応した新事業、新商品の開発

(1) ホームエネルギーの事業強化

／新エネルギー・環境・住設・住宅リペアーなど

(2) 将来的な新規事業の模索(ビジネスの柱となる)

／次世代モビリティサービスの可能性を探る

(3) 地域資源(地域社会)が堀田石油のビジネスの基盤であることを自覚する。(地域があつての堀田石油である)

／地域の環境、防災、活性化などへの取り組み

4. 将来を担う人材の採用、能力開発

- (1) 10年先の事業展開を見据えた人材の採用と能力開発
- (2) 女性社員が活躍しやすい職場づくり
- (3) 健康経営／社員の健康は健全な企業経営の源である。
- (4) 会社と社員が一体となって、社会的な責任を果たし、働きやすい職場をつくる。
- (5) 自動車やエネルギーについての最新情報の収集とビジネスへの展開の検討
- (6) 現在の人事考課は業績中心であるので、原点に立ち返り、行動基準としてのACTION5を具体的に実行する。